

2019年度 総合研究所特別研究員 研究活動報告

氏名	中嶋 奈津子
研究テーマ	早池峰神楽の研究—伝承のメカニズムから明らかにする芸能の起源—
研究概要	これまで学術的にも「早池峰神楽」（国指定重要無形民俗文化財、ユネスコ無形文化遺産登録）として一括りに認識されている岳神楽と大償神楽について、これらの伝承のメカニズムを解明することで本来は個々の神楽であろうことを明確にし、従来の神楽の伝承研究に一つの方向性を示す。

1. 研究活動の概要と研究成果	<p>◎研究目的と内容</p> <p>本研究は「早池峰神楽」と称される二つの神楽の本質を伝承メカニズムから解明することにある。これまで、400年以上継続する早池峰神楽（岩手県花巻市大迫の岳神楽・大償神楽の総称）について、主に「担い手と継承のメカニズム」に着目して調査と検討を行ってきた。これにより、これまで早池峰神楽として一括りにされていた二つの神楽の本質の違いを見出すことができた。また複数の神楽の師弟関係をひとつの組織として捉えることで、長期間の神楽の伝承を可能にしてきたことを明らかにした。</p> <p>この調査と研究の過程で、大償神楽と呼ばれる神楽が「三社流神楽」と「野口法印流神楽」の二つに分類され、それぞれが別地方に広く伝播した可能性があることがわかった。</p>
2. 学術論文・学会発表等	<p>①「伝承の形式からみる神楽の位置づけと状況—大償内野口法印流神楽について—」『佛教大学総合研究所紀要』第27号、佛教大学総合研究所（2020年3月）</p> <p>②『早池峰岳流石鳩岡神楽 早池峰大償流土沢神楽調査報告書』花巻市教育委員会 共著（2020年3月）</p> <p>③「八木巻神楽調査報告書」岩手県無形民俗文化財調査書 岩手県教育委員会（2019年12月）</p> <p>④発表「大償内流野口家法印流神楽とその伝播について」東北民俗の会（2019年10月19日仙台復興会館）</p>
3. 競争的資金等への応募と採択	<p>①研究課題「神楽の継承と伝播の研究—なぜ、早池峰神楽は継承できたのか—」学術研究助成基金助成金、基盤研究（C）20K01201、研究期間2020年4月—2023年3月</p> <p>②齋藤英喜氏の科研、研究課題「神楽の中世的展開とその変容」（基盤研究（C）19K00092）の研究分担者に採用、研究期間2019年4月—2022年3月</p>
4. 今後の課題	<p>早池峰山麓の神楽が大償神楽と密接に関わっていた可能性が見えてきた。改めて「早池峰山麓の神楽」という視点でその伝播過程と関係性を明らかにし、ひいては南部藩領内における修験系神楽の広がりや変遷について検討してゆきたい。</p>